

# 趣 意 書

謹 啓 貴台におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃よりホッケー競技の発展について格別のご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染が収束されていない状況ですが、東京2020オリンピックがいよいよ開催されます。ホッケー競技においては、リーベ栃木所属の4名の選手及びグラクソ・スミスクラインオレンジユナイテッド所属の1名の選手が日本代表に内定されました。栃木県ホッケー協会としても名誉なことであり、大変喜ばしい限りです。

さて、本年は、9月に第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」ホッケー競技のリハーサル大会として、全日本社会人ホッケー選手権大会をここ栃木県日光市で開催する予定であり、来年の当国体に向けた気運が益々高まってくると感じております。このような中、当協会としても当国体ホッケー競技の総合優勝に向け、引き続きその世代となる小中高生等の選手育成事業に力を注ぐ必要があります。

しかしながら、その事業費等においては、関係機関からの協力及び援助はあるものの資金不足が懸念されるところです。

つきましては、この趣旨をご賢察の上、将来に向けた栃木県のホッケー競技の発展のため、ご協賛を賜りたく何卒お願い申し上げます。

謹 言

令和3年6月吉日

栃木県ホッケー協会

会長 粉 川 昭 一